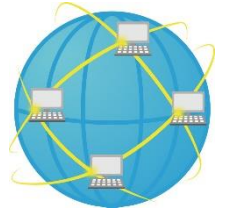




情報モラル講話を聞いて



5月16日、元岐阜県警の小森得弘先生を本校にお招きし、情報モラル講話を開きました。身近にあるスマートフォンやSNSを例にとり、知らなかったでは済まされない、情報化社会でのルールを実例や質問を交え学びました。

講話の様子



どんな話が聞けるかワクワク



実例を交えた話はとても面白かったです



実生活を見直す機会になりました

生徒の感想

・小森さんのお話を聞き、SNSの怖さやICTの活用について具体的な例を挙げてくださってとても分かりやすかったです。ニュースで一度は聞いたことがある事案ばかりで、自分のスマホの使い方について見直すきっかけになりました。スマホを使うときには自分のことも相手のことも考えなくては行けないと改めて感じました。(1年生)

・改めて、軽い気持ちで行動すると自分が一番後悔することになり、相手にも多くの迷惑をかけてしまうことがわかった。自分が何かする前に考えて行動することを心がけて、今日の講話を意識してSNSを使っていきたい。(2年生)

・今日の講話を聞いて、情報はとても便利で自分の生活にとって欠かせなくなっているが、使い方を誤ればとても危険なものであることがわかりました。ワンクリック詐欺など、わかったつもりでも引っかかる人が絶えないことはびっくりしました。自分はこういったことを全く考えたことがなかったので、今後は注意してインターネットを使っていきたいです。(3年生)

・私はインターネットやSNSをよく使います。何も考えず、軽い気持ちで使っていると自分が知らない間に情報が抜き取られていることは本当に怖いことだと思いました。本日の講話で学んだことを生かして生活をしていきたいです。(3年生)